



大熊町 殿

# 大熊町内一般家屋内の汚染状況 調査と合理的除染方法の検討 (提案)

(元双葉町/大熊町住民)きなやん

# 汚染状況

- 大熊・富岡、楢葉町は北からの風により全体が汚染した
- 双葉・浪江町および飯館村は南からの風で汚染した
- 葛尾・川内村は上記風が一部流れたと考えられる
- 北からの風と南からの風では、家屋内の汚染状況に違いがあると考えられる

# 試験目的

- 警戒区域内にある比較的線量率の高い地域家屋内の汚染状況を詳細に調査する
- 汚染の侵入経路を確認し、合理的な除染方法の確立のための除染試験を行う
- 今後計画される警戒区域内除染・一般家屋除染のためデータ採取を行う
- 除染が困難な場合廃棄物となるため、その総量の把握と減容方法の検討を行う

# 大熊町にある木梨住宅の状況(その1)

- 家屋内線量率  $\sim 10 \mu\text{Sv/h}$
- 庭  $\sim 20 \mu\text{Sv/h}$
- 家中汚染  $\sim 33\text{kcpm}$  ( $\sim 400\text{Bq/cm}^2$ )
- 汚染侵入口は換気扇(地震等により破損した窓等)
- 家屋北側から汚染雲で包まれ、換気扇から屋内に汚染侵入(台所、トイレ等)
- 1階と2階の連絡通路を通して汚染が拡大

## 木梨住宅の状況(その2)

- およそ10数軒がまとまってある住宅団地
- 築年数が異なる住宅
  - ・ 築5年～築40年の家がまとまって存在
- まとまっているため、団地線量率はほぼ同じ
- 築年数・構造等により家中汚染の状況に違いがある？
- 築年数が違えば使用材料・材質も違う
- 上記条件の違いによる家中の汚染状況を把握するには最適な場所

# 汚染検査の方法

- 表面はもとより壁内部・天井裏の汚染検査を実施
- 床材・畳をはがしての汚染検査
- 家数件、家丸ごと汚染検査
- 汚染検査後撤去し、家がある場合とない場合の敷地除染効率の比較

# 廃棄物減容のための対策

- 可燃・難燃物と材質、その量を調査
- 不燃物と材質、その量を調査
- 発生廃棄物の減容方法の具体的検討
- 廃棄物の再利用方法の検討

# 家中の汚染が今後の問題となる？

- 環境省が実施する警戒区域内の除染には、家中の除染は含まれていない
- 家中の除染を行わなければ、帰還後内部取り込みの可能性はある
- 問題の先取り→家中の汚染状況を把握し、今後の対策を検討する材料とする
- 国に先立ち、早めの状況把握と対策を立案することが必要